

## 11月は、薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！

感染症の原因となる細菌やウイルスに抗菌薬等が効かなくなること、薬剤耐性（AMR）といいます。

抗菌薬の効かない細菌のことを、薬剤耐性菌といいます。

薬剤耐性菌が増えると、抗菌薬が効かなくなるため、  
今までは適切に治療すれば軽症で回復できた感染症であ  
っても、治療が難しくなって重症化しやすくなります。

特に、免疫力の弱い乳幼児や妊婦、高齢者、持病がある人  
は、感染症にかかると重症化しやすいため、薬剤耐性菌が  
増えて使用できる抗菌薬が減ると、命の危険が高まります。



## 薬剤耐性（AMR）の拡大を防ぐために私たちができること

～処方された薬は、医師や薬剤師の指示を守って、正しく飲みましょう！～

- 自分の判断で服薬を中止しない！  
→「この薬は必ず5日間飲んでくださいね」などと医師から指示された薬の服用を、症状が軽くなったからといって途中で止めないでください。  
◎処方された薬は、指示された期間で飲みきりましょう！
- 自分の判断で服薬量や回数を減らさない！  
→「1回2錠を飲んでください」などと指示された薬を、勝手に1回1錠に減らしたりしないでください。  
◎処方された薬の量と回数を守りましょう！
- 処方された薬を人にあげない、人からもらわない  
→感染症の起きている身体の場合や原因となる細菌やウイルス、効果的な薬の量や服薬回数、服薬期間は、人によって異なります。そのため、自分に処方された薬を人にあげたり、他の人に処方された薬をもらったりしないでください。
- 手元に残っている薬を飲まない  
→以前処方されて残っていた薬があったとしても、飲まないでください。今回起きている感染症に対しては、薬の効果がないだけでなく、思わぬ副作用が出る可能性もあります。



# 12月1日は世界エイズデー



令和5年度キャンペーンテーマ

「あなたが変わればエイズのイメージが変わる。UPDATE HIV！」

## HIV、エイズって何？

HIV≠エイズ

HIVとは、**ヒト免疫不全ウイルス**のことです。

エイズ（後天性免疫不全症候群）とは、**HIVに感染して引き起こされる病気の総称**のことをいいます。

主な感染経路は、**性行為感染・血液感染・母子感染**です。

## HIV 感染後の経過

HIV  
感染

急性期  
(1～3ヶ月)

無症後期  
(数年～10年程度)

エイズ発症  
(数年～10年以降)

発熱、筋肉痛、頭痛などの**インフルエンザ様症状**があらわれることがあります。数週間で**消失**します。

症状が無くても、体の中でHIVが毎日**100億個くらい増殖**しており、免疫に大切な細胞が体の中から徐々に**減少**していきます。

**免疫不全状態**となり、日頃かかることのない様々な病気にかかりやすくなることでエイズを発症します。

## 予防方法

- 血液、精液、膣分泌液などの**体液に直接触れない**ように注意しましょう。  
※握手や会話、コップの回し飲み等で感染することはありません。
- 性行為の際は、**コンドームを正しく使用**しましょう。

## HIV感染症は、早期発見、早期治療が大切です！

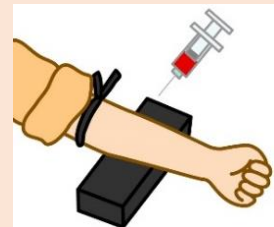
感染不安のある方は、HIVに感染しているかを調べるため、医療機関や保健所で、**早めにHIV検査を受けましょう！**

医療機関での検査を希望する場合は、**泌尿器科・婦人科**のある医療機関に事前にご相談下さい。

保健所では、**無料・匿名**で検査を受けることができます。  
～**県北保健所でのHIV検査実施体制**～



日 中	夜 間
毎週（第1～4週）月曜日 9:00～10:30	第1・3月曜日 17:30～18:00



参考：HIV検査・相談マップ(<https://www.hivkensa.com>)

**完全予約制**のため、保健所でのHIV検査を希望する方は、感染症予防チームまでご連絡ください！

発行日：令和5年10月31日

発行元：福島県県北保健所 医療薬事課 感染症予防チーム

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ：検索キーワード

福島県県北保健所